

北海道教育大学函館校

第7号

江差ソーシャルクリニック ニュース

今年も江差の皆さんとともに歩んでいます!!

平素より江差ソーシャルクリニック(江差SC)の活動に対するご理解とご協力をありがとうございます。江差SCは、函教大と町民の皆様が一緒になって地域課題を解決していこうという取り組みです。今号の内容は地域支え合い協議体のご紹介、ニシンチャレンジカップ(NCC)のお知らせなどです。引き続き活動へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

北海道教育大学函館校 地域協働推進センター センター長 齋藤 征人
江差SCプロジェクトチーム 代表 古地 順一郎

地域生活の向上を目指して ～地域支え合い協議体の役割～

生活支援コーディネーター 中川 めぐみ

地域支え合い協議体は、平成29年度から始まった会議体です。高齢者に必要な生活支援サービスを整理し、既存のサービスが活用できる方法の検討や不足しているサービスを明確にし、新たな地域資源の開発に向け、2か月に1回情報共有や協議を行っています。



初年度は、「地域の困りごとは行政が解決する」という鉄板の言葉が飛び交う中、先行き不安なスタートだったことが思い出されます。しかし、当町では北海道教育大学との連携協定を前年度より締結し、第2層協議体に位置付けられている「まちづくりカフェ」が既に同年度に着手されており、齋藤教授に関わっていただいております。そのため、高齢者の生活支援体制を住民主体で構築していくための同様の目的でもある第1層協議体は、繋がりが必要なことから、まちづくりカフェに関わって頂いている齋藤教授にもう一つの住民によるブレインチームを構築していくために関わりを頂くこととなりました。当初から2年目までは、事業の意図する勘所、協議体の役割について同じテーブルにつき、アドバイス頂きました。次第に協議体メンバーの意識に変化が見え始め、協議体としてできることは何かという事を考える会議体に形成されました。この間も、齋藤教授には他地域で行われている活動の紹介や適格なアドバイスをいただきながら進み、現在では最も取組みが難しいと考えていた「移動」支援について協議するまでになりました。



ここで、これまでの活動をまとめてご紹介いたします。

①生活支援体制整備事業の機能への理解・地域支え合い協議体の役割・生活支援コーディネーターとの協働関係について学習。

②着手すべき優先順位の中から、協議体で手掛けることができる「買い物支援」について検討し、協議体委員と生活支援コーディネーターが共に地域へ飛び込み、各商店から情報収集を行い、「お買い物おたすけ情報」を作成。その後、モデル地区を設定し、モニタリングを実施。

③改めて町にある既存の資源を整理し、高齢者に使いやすいを追求した「地域資源ガイドブック」を作成。

②と③は、協議体委員が地域の方に使い方を説明し、配布、配布後の感想やご意見を頂き、全体で検証する作業がしました。地域でのコミュニティ形成、住民同士の助け合い活動に繋がっていけるよう今後も大学からのご協力も頂きながら、協議体として取り組んでいきたいです。

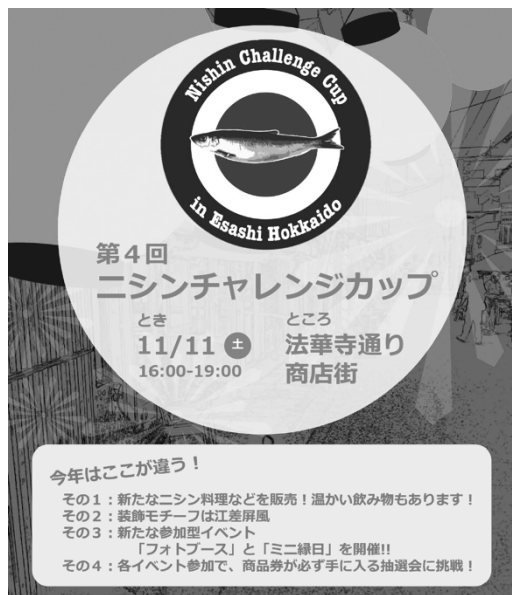
(裏面に続く)

★11月11日(土)はニシンチャレンジカップへ!!★

2023年11月11日(土)16時から19時まで、法華寺通り商店街において第4回「ニシンチャレンジカップ(NCC)」が開催されます。本学は実行委員会の一員として、地域政策学研究室の教員・学生が中心となって関わっています。NCCは、江差のありように大きな影響を与えてきた「ニシン」とその関連コンテンツを、どのように今後のまちづくりに活かしていくかを探究する試みです。

今回は「祭」をテーマに、ニシンを中心に町民が集まる場に挑戦します。江差高校生による「フォトブース」と江差高等看護学院生による「ミニ縁日」も開催します。函館水産高校生による「江差揚げ」の試食もあります！

今回は初めてアルコールの提供も行います！車でいけないという心配もご無用！江差マースの実証実験も実施しますので、会場まで無料でお越しいただけます。江差マースを利用するとEZOポイントも進呈！商品券があたるシールラリーもあって、いろいろとお楽しみいただけます！ぜひお越しください！くわしくは、このニュースレターと一緒に入っているチラシをご覧ください。皆さんのお越しをお待ちしております！



主催 ニシンチャレンジカップ実行委員会
 問合せ ニシンチャレンジカップ実行委員会事務局 (江差町役場まちづくり推進課内) 0139-52-6712



この事業はリマージンボタンの収益金を活用して実施しています。

詳細は裏面をチェック

4年ぶり！ 江差町まちあるきツアー＆姥神大神宮渡御祭参加体験

今年度は4年ぶりに「江差町まちあるきツアー」(5月)と「姥神大神宮渡御祭参加体験」(8月)を実施しました。この二つの事業は、函館校の学生が江差町を知り関心を持ってもらうきっかけを作るとともに、江差の地域づくりに関わる学生を増やすことを目的としています。まちあるきツアーには留学生を含め35名が参加しました。好天に恵まれたツアーでは町内各所をまわり、町民の皆さんと交流する機会も持つことができました。留学生にとっても貴重な体験となったようです。姥神大神宮渡御祭参加体験には学生11名が参加し、本町清正山さんにお世話になりました。4年ぶりのお祭りで全員が初参加でしたが、山車の皆さんが温かく迎えてくださったこともあり、楽しく貴重な体験をさせていただきました。町民の皆さん、ツアーとお祭りでは大変お世話になりました！

○● 江差町まちあるきツアーの様子 ●○

○● 姥神大神宮渡御祭参加体験の様子 ●○



発行

北海道教育大学函館校 地域協働推進センター 江差 SC プロジェクトチーム (代表 古地順一郎)

〒040-8567 北海道函館市八幡町1番2号 電話: 0138-44-4354 (古地研究室) E-MAIL: koji.junichiro@h.hokkyodai.ac.jp